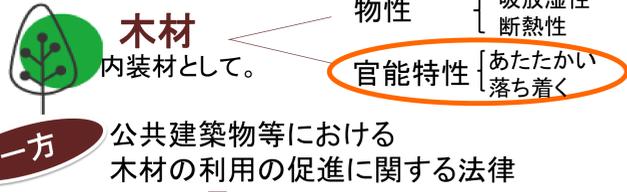


# 若年者、高齢者における塗装木材の視覚・視触覚による官能評価 ～針葉樹材と広葉樹材の官能特性の比較～

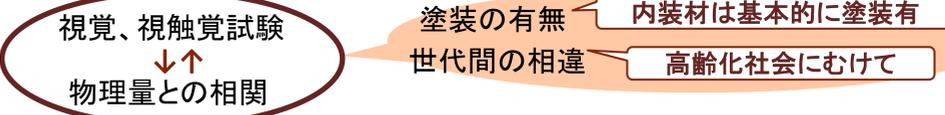
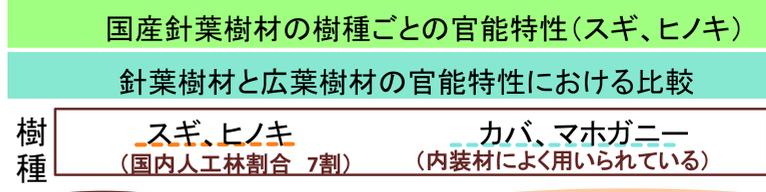
(京府大生命環)○稲葉季詩子 (京府大院生命環)田井駿一、大越 誠、古田裕三 (京大院農)仲村匡司、藤原裕子

## ●背景



国産針葉樹材の内装材利用の増加 → 針葉樹材の官能特性

## ●研究目的



## ●供試試験体及び実験方法

○試験体 8種類 試料寸法:25×18 cm 柃目面



○官能試験

	若年者	高齢者
平均年齢	20.6 歳	81.6 歳
人数	30人	30人
検査場所	恒温恒湿室 (21 °C/62 %RH)	デイサービスセンター (22 °C/38 %RH) 恒温恒湿室 (21 °C/62 %RH)

室内にて数分安静にする

試料を見て、順位法で評価

視覚

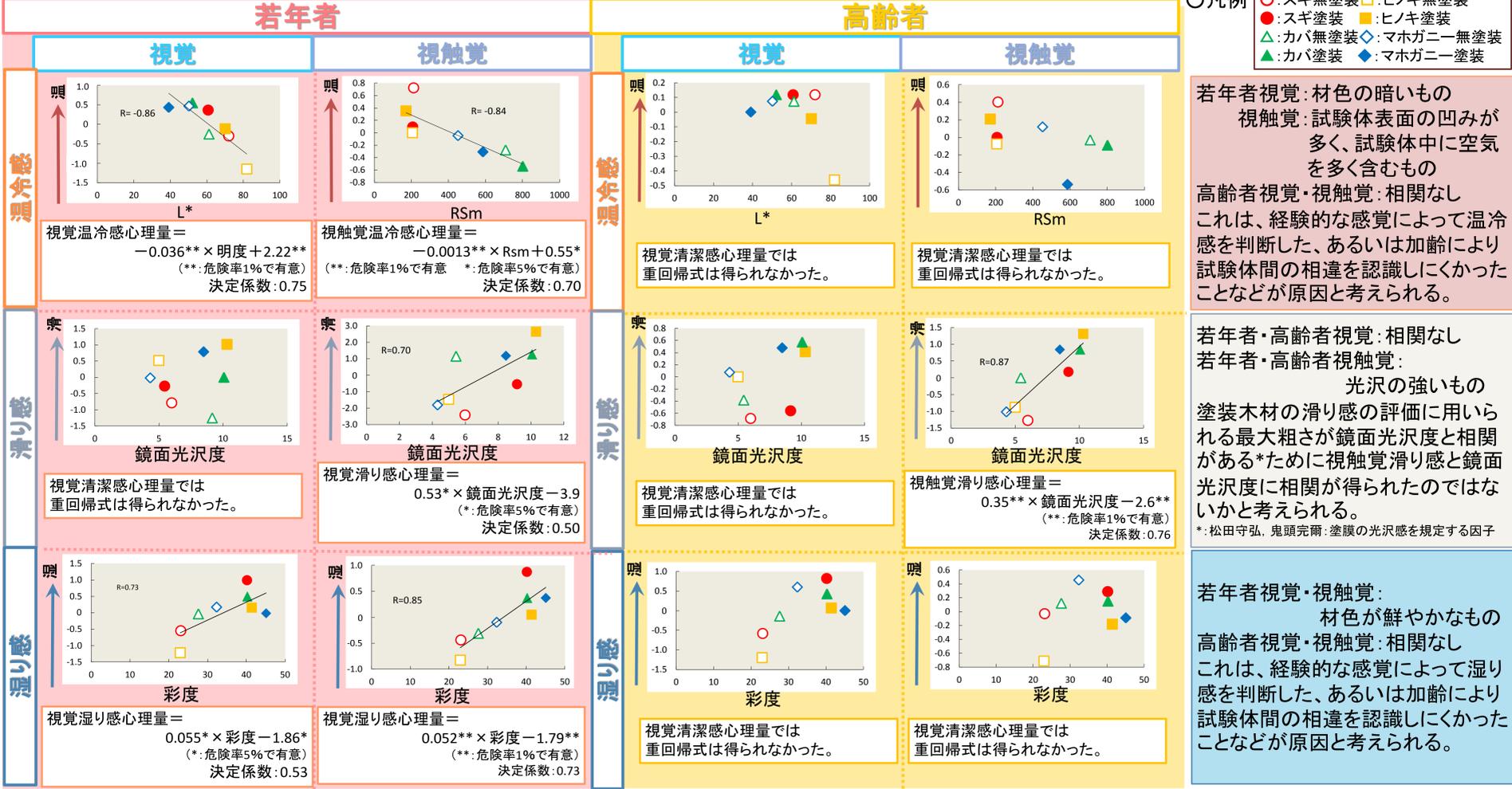
試料を見ながら触れ、順位法で評価

視触覚

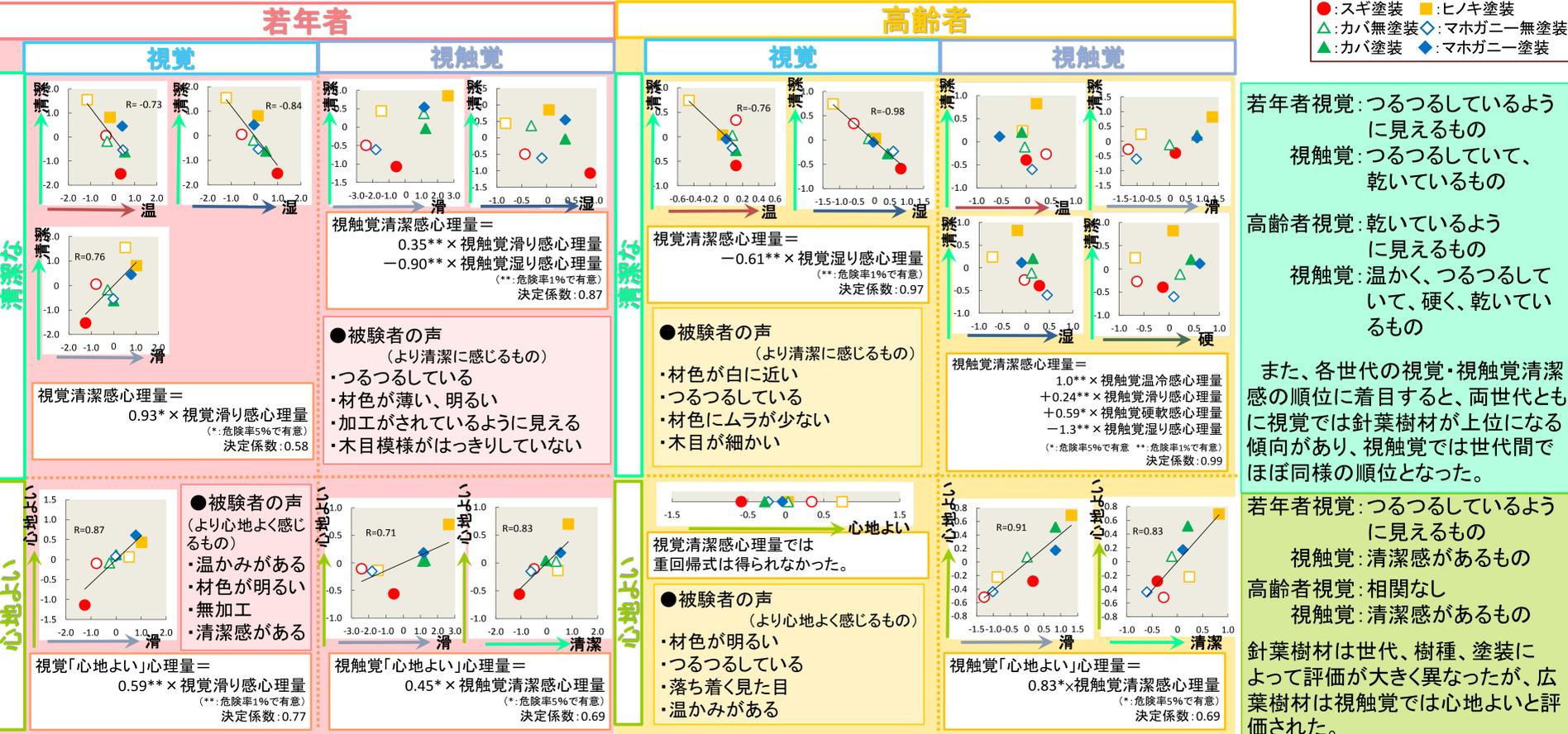
平均標準偏差基準化法で心理量へ!

○物理量の測定 明度(以下L\*),彩度(以下C\*),色相角:イメージ分光器 二乗平均平方根粗さ、粗さ曲線要素の平均長さ(以下RSm):触針式表面粗さ計  
鏡面光沢度:鏡面光沢度測定装置UGS-SENSE 熱流:熱流センサー、熱電対

## I 結果と考察 温冷感・滑り感・湿り感心理量と物理量について



## II 結果と考察 心理量同士の相関について



●謝辞 被験者として本研究にご協力くださいました、社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設紫野の皆様、本学シルバーサービスの皆様、そして本学学生の皆様に深く感謝致します。